

2021



緑小だより 8号

令和3年12月
清川村立緑小学校
児童数 115人
家庭数 85戸



2学期を振り返って

校長 船津 慎一

山が色づいた季節から、一気に風の冷たい冬の季節となりました。12月になり学校は2学期末を迎えています。思い起こせば、新学期になっても緊急事態宣言が解除されず、予定していた運動会は実施日とプログラムを変更して開催せざるを得ませんでした。しかし、10月になると宣言も解除され、6年生のキッザニアでの校外学習、4・5年生の七沢自然教室(宿泊はできませんでしたが)、そして修学旅行と子どもたちが楽しみにしていた行事を実施することができました。

また、各学年の校外学習(地域学習)も進めることができ、昨年は開催できなかった「ワイワイ緑フェスティバル」は新たな趣向でPTAの皆さんの努力によって楽しいウォークラリーとなりました。さらに、12月1日には昨年から順延した演劇鑑賞会「スクラムガッシン！」(劇団風の子)を開催して、宮ヶ瀬小学校、清川幼稚園、あおぞら保育園の子どもたちと一堂に会して楽しく鑑賞することができました。迫真の演技を目の前にして、見ている子どもたちは、皆その世界に引き込まれていました。振り返るとたくさんの行事が一部予定を変更しながらも実施できたことは、保護者の皆様のご理解をはじめとして、地域・行政など様々なご支援の賜物と感謝しております。

話は変わりますが、今の生活ではICTを欠くことはできません。デジタルネイティブ世代の真ん中にいる現在の小学生が、学習に活用するのも当然のことです。清川村の学校では一昨年からICTを活用した学習を推進しています。

先月、2年生は生活科の学習で、3年生は総合的な学習の時間に給食センターやAFURIと教室をオンラインで結び、それぞれの場所で働く方々からいろいろなことを教えてもらいました。その後は、子どもたちが疑問に思っていることを質問し、答えてもらってもしました。ICTはとても便利で手軽であるというメリットがあります。

その一方で、実物の大切さも感じてほしいと思います。体育館で演劇を見ている時、役者の演技を目の前にその世界に引き込まれるのは、テレビドラマや映画とは別なものだと感じました。セリフには役者の息遣いが感じられます。目の力も体の動きの迫力も感じられました。給食センターやAFURIへのオンラインインタビューはとても有効的な学習でしたが、その臨場感、温度やにおい、建物の雰囲気などは直接感じ取ることができません。「雪」を見たことがない子どもに「雪」を理解してもらうのはとても難しいそうです。ICTを有効に活用して学ぶとともに、実際に体験することも大切に学んでほしいと思います。本物も知っていて、ICTを活用して考えを膨らませることができると「鬼に金棒」になりますね。

これから2学期も大詰めとなり、そして年末を迎えます。この一年、保護者と地域の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。冬休みは子どもたちが楽しみにしているイベントがたくさんあります。子どもたちにとって楽しい思い出になることを願っています。ただし、コロナ感染症はまだまだ油断できない状況です。インフルエンザの流行も懸念されています。皆さんが健康で新しい年を迎えられますようお祈りいたします。よいお年を。

6年生 日光修学旅行

11月10日(水)～11日(木)



紅葉がきれいでした。

6年生は11月に日光方面へ、修学旅行に行きました。天気にも非常に恵まれ、日光の素晴らしい自然に触れたり、歴史を肌で感じたりすることができました。また、様々な見学場所では、しっかりとあいさつをしたり、ルールを守ったりと、最高学年らしい素晴らしい姿を見せてくれました。6年生にとって、大切な思い出の一つになったようです。



HPもぜひご覧ください。

マチコミタイムラインについて

👉を押していただけると嬉しいです！



先月「緑中学校区学校運営協議会」が行われ、話し合いの中で、学校の様子を地域の方々に知っていただくことの必要性が出されました。また、今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことを鑑み、行事や、実施内容を精選いたしました。そのため、保護者の皆様や地域の方々の、学校に来ていただく機会を減らさざるを得ませんでした。これらのことにより、マチコミアプリ内のタイムラインを活用し、学校の様子をできるだけ知っていただく機会として、配信を行うこととしました。内容についてなど、ご意見や感想などありましたら、お寄せください。日によっては、配信の回数が前後いたしますが、ご了承いただけますよう、お願いいたします。また、タイムラインは、保護者の皆様と学校関係者など、登録されている方のみへの配信となっております。学校HPでも様子をお伝えしておりますので、ご覧ください。